

2012年3月期 第3四半期 決算説明資料

1 連結業績の概要

- 1) 連結業績概要 …P. 2
- 2) 売上高の変動要因 …P. 3
- 3) 営業利益の変動要因 …P. 4

2 連結業績の詳細

- 1) セグメント別売上高・営業利益 …P. 5
- 2) 設備投資他 …P. 12
- 3) 損益計算書・包括利益計算書 …P. 13

3 2012年3月期 業績予想

- 1) 2012年3月期 業績予想 …P. 14
- 2) セグメント別売上高・営業利益 …P. 15
- 3) 四半期毎のセグメント別売上高 …P. 16
- 4) 四半期毎の営業利益 …P. 17

4 その他の情報

- 1) 新製品情報 …P. 18

当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。

当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しにのみを依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、

事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。



1 連結業績の概要		連結業績概要		前年同期比
売上高		金融市場を除く、各セグメントでの販売が堅調に推移したことにより、前年同期に比べ増加。		
利益		開発効率や生産性の向上、海外生産・海外調達等のコストダウン施策を推進したが、新製品開発費用の増加等により、前年同期に比べ減少。		
(百万円)	2011年3月期 第3四半期 累計期間	2012年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比	
売上高	99,469	103,579	+4.1%	
うち 保守売上高	23,832 (24.0%)	25,235 (24.4%)	+5.9%	
営業利益	7,401 (7.4%)	7,320 (7.1%)	▲1.1%	
経常利益	7,784 (7.8%)	7,706 (7.4%)	▲1.0%	
四半期純利益	4,427 (4.5%)	3,646 (3.5%)	▲17.6%	
※為替レート [ドル]85円 [ユーロ]110円				

2

2012年3月期 第3四半期累計期間の「連結業績」について

当第3四半期累計期間は、前年同期と比べ増収減益。

[売上高]

前年同期に比べ4.1%増加。

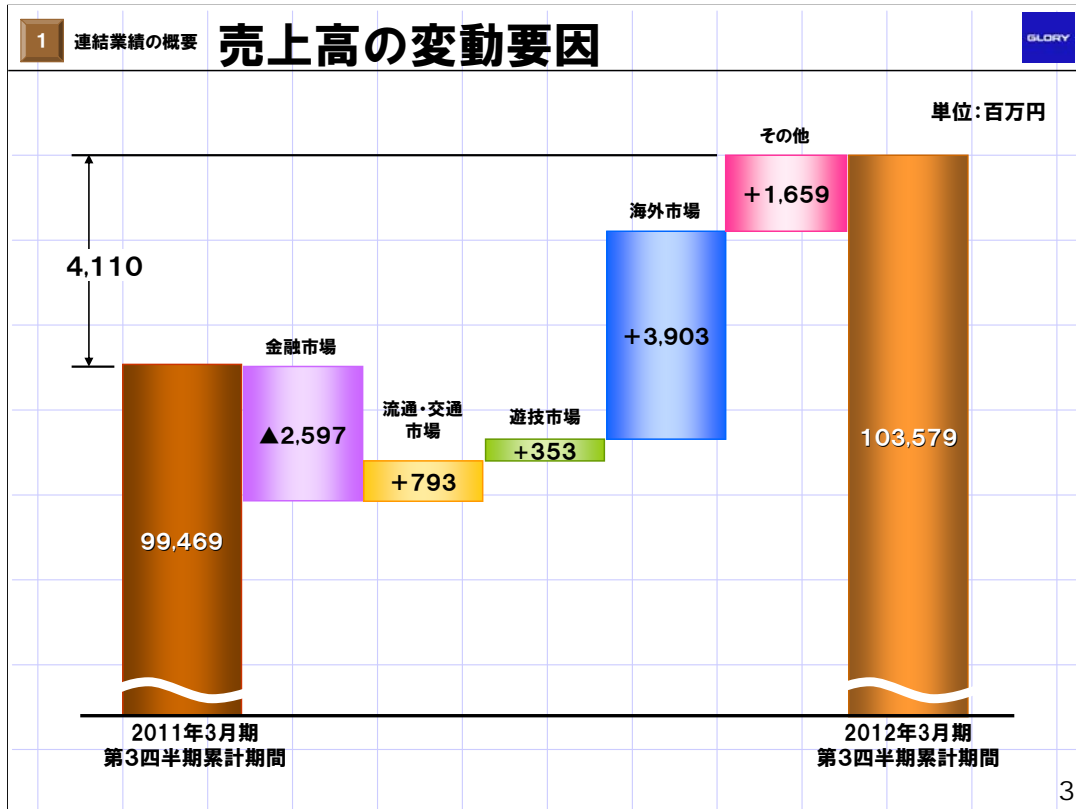
金融市場を除く、4つのセグメントが堅調に推移。

[利益]

営業利益は、海外生産調達等のコストダウン施策を推進しているが、新製品の開発費用等の増加により、前年同期に比べ1.1%減少。

経常利益は、為替差損は減少したが前年同期に比べ1.0%の減少。

四半期純利益は、前年同期に比べ17.6%減少。



前期と当期の「セグメント別売上高の変動要因」について

当第3四半期累計期間は前年同期に比べ41億1,000万円の増収で推移。

[売上高が減少したセグメント]

金融市場・・・前年同期比マイナス25億9,700万円

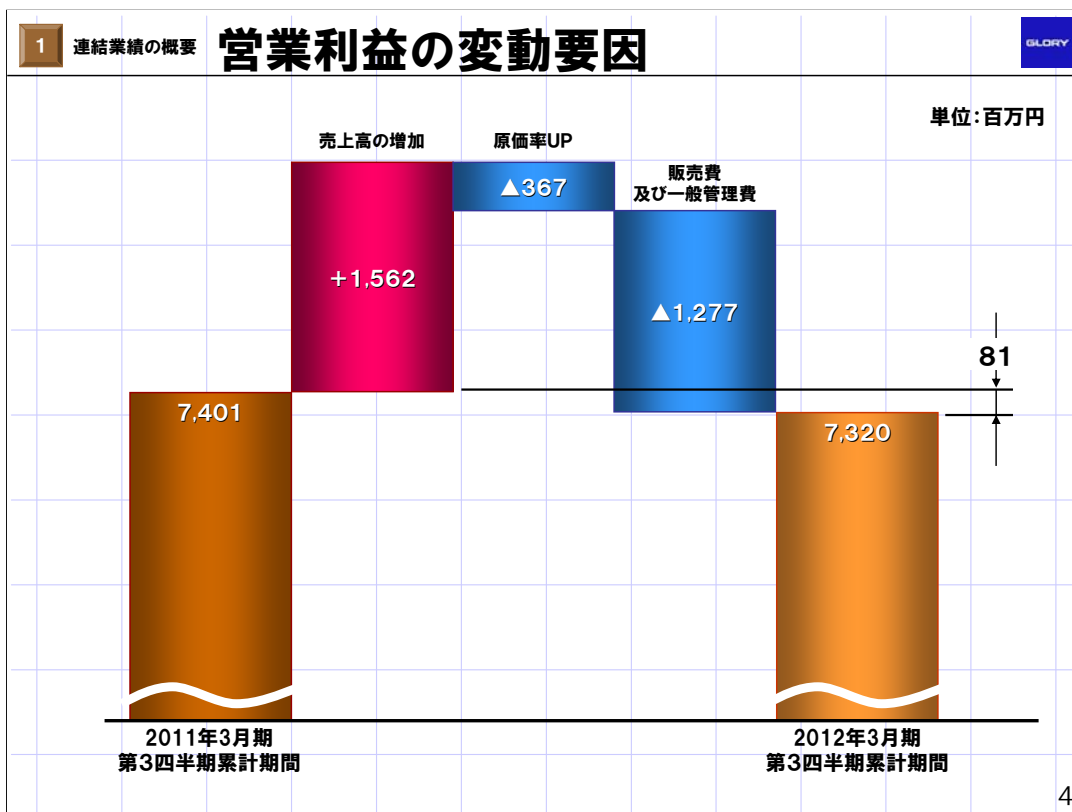
[売上高が増加したセグメント]

流通・交通市場・・・前年同期比プラス7億9,300万円

遊技市場・・・前年同期比プラス3億5,300万円

海外市場・・・前年同期比プラス39億300万円

その他・・・前年同期比プラス16億5,900万円



前期と当期の「営業利益の変動要因」について

当第3四半期累計期間では、前年同期と比べ8,100万円の減益。

[主な増加要因]

売上高の増加による増益効果が15億6,200万円。

[主な減益要因]

原価率アップの影響がマイナス3億6,700万円。

販管費の増加による影響12億7,700万円。

(単位:百万円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2011年3月期 第3四半期 累計期間	2012年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比	2011年3月期 第3四半期 累計期間	2012年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比
金融市場	32,476	29,879	▲2,597 (▲8.0%)	3,605	2,011	▲1,594 (▲44.2%)
流通・交通 市場	19,195	19,988	+793 (+4.1%)	1,605	2,493	+888 (+55.3%)
遊技市場	19,438	19,791	353 (+1.8%)	1,187	1,468	+281 (+23.7%)
海外市場	19,607	23,510	+3,903 (+19.9%)	1,013	1,537	+524 (+51.7%)
その他	8,750	10,409	+1,659 (+19.0%)	▲11	▲189	▲178 (▲1618.2%)
合計	99,469	103,579	+4,110 (+4.1%)	7,401	7,320	▲81 (▲1.1%)

5

「セグメント別の業績」について

[セグメント別売上高]

前年同期と比べ金融市場はマイナス、その他の4つのセグメントはプラスで推移。

[セグメント別営業利益]

金融市場とその他が前年同期と比べマイナスで推移。

流通・交通市場、遊技市場、海外市場は前年同期と比べプラスで推移。

●主要製品の販売が低調

オープン出納システムの販売は、大口重要の減少により低調に推移。

OEM商品の販売は、ATM用硬貨入出金ユニットは好調だが、窓口用入出金システムのユニットは更新需要の延伸により低調に推移。

セグメントの概要

国内の金融機関、日本郵政、OEM先等への販売・保守

主要製品



オープン出納システム
WAVEシリーズ



窓口用入出金
システムのユニット
RBシリーズ



ATM用硬貨入出金
ユニット
RCNシリーズ

(単位:百万円)

	2011年3月期 第3四半期 累計期間	2012年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比
売上高	32,476	29,879	▲2,597 (▲8.0%)
構成比率	32.6%	28.8%	▲3.8%
営業利益	3,605	2,011	▲1,594 (▲44.2%)
構成比率	48.7%	27.5%	▲21.2%
営業利益率	11.1%	6.7%	▲4.4%

6

「金融市場」について

主要製品であるオープン出納システムの販売は、大口需要の減少により、前年同期と比べマイナスで推移。OEM商品の販売は、ATM用硬貨入出金ユニットは好調だが、窓口用入出金システムのユニットの販売が更新需要の延伸により、前年同期と比べマイナスで推移。

【売上高】

前年同期比マイナス8.0%の298億7,900万円。

【営業利益】

前年同期比マイナス44.2%の20億1,100万円。

● レジつり銭機の販売が好調

OEM商品の店舗入出金機の販売は低調。
レジつり銭機の販売は設備投資意欲の回復や
大口需要の獲得により好調。
市場全体としては堅調に推移。

セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、
鉄道会社等への販売・保守

主要製品



レジつり銭機
RT/RADシリーズ



小型入金機
DS・DSSシリーズ



現金入出金機
DSRシリーズ

(単位:百万円)

	2011年3月期 第3四半期 累計期間	2012年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比
売上高	19,195	19,988	+793 (+4.1%)
構成比率	19.3%	19.3%	±0%
営業利益	1,605	2,493	+888 (+55.3%)
構成比率	21.7%	34.1%	+12.4%
営業利益率	8.4%	12.5%	+4.1%

7

「流通・交通市場」について

OEM商品である店舗入出金機の販売は低調に推移。
主要製品であるレジつり銭機の販売は、投資意欲の回復や大口案件の獲得に
より好調に推移。
市場全体としても堅調に推移。

[売上高]

前年同期比プラス4.1%の199億8,800万円。

[営業利益]

前年同期比プラス55.3%の24億9,300万円。

●メダル関連機器の販売が好調

カードシステム等の販売は、競合他社との競争激化の影響もあり減少。

メダル関連機器の販売は、パチスロ人気の回復基調を受けて好調。

市場全体としては前年同期並みで推移。

セグメントの概要

国内の遊技場(パチンコホール等)への販売・保守

主要製品

カードシステム



管理ターミナル

カードユニット

カード精算機



景品保管機 JKシリーズ

(単位:百万円)

	2011年3月期 第3四半期 累計期間	2012年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比
売上高	19,438	19,791	+353 (+1.8%)
構成比率	19.5%	19.7%	▲0.4%
営業利益	1,187	1,468	+281 (+23.7%)
構成比率	16.0%	20.1%	+4.1%
営業利益率	6.1%	7.4%	+1.3%

8

「遊技市場」について

主要製品のカードシステム等の販売は、競合他社との競争激化の影響もあり低調。

メダル関連機器の販売はパチスロ人気の回復基調を受け好調。市場全体としては前期並みで推移。

[売上高]

前年同期比プラス1.8%の197億9,100万円。

[営業利益]

前年同期比プラス23.7%の14億6,800万円。

●OEM商品等の販売が好調

(単位:百万円)

米州ではOEM商品であるATM用入金ユニットの
販売が好調に推移。
アジアでは中国を中心に紙幣整理機の販売が順調。
欧州はイタリアの販売子会社の買収効果により順調
に推移。

セグメントの概要

海外の金融機関、警備輸送会社、カジノ、
OEM先等への販売・保守

主要製品



紙幣整理機
UW・USFシリーズ



ATM用
紙幣入金ユニット
UDシリーズ



紙幣入出金機
RZシリーズ

	2011年3月期 第3四半期 累計期間	2012年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比
売上高	19,607	23,510	+3,903 (+19.9%)
構成比率	19.7%	22.7%	+3.0%
営業利益	1,013	1,537	+524 (+51.7%)
構成比率	13.7%	21.0%	+7.3%
営業利益率	5.2%	6.5%	+1.3%

9

「海外市場」について

米州では、OEM商品である米国向けATM用紙幣・小切手入金ユニットの販売が好調。

アジアでは、中国を中心に紙幣整理機の販売が順調。

欧州では、イタリアの販売子会社シトラーデ社の買収効果により順調に推移。

〔売上高〕

前年同期比プラス19.9%の235億1,000万円。

〔営業利益〕

前年同期比プラス51.7%の15億3,700万円。

(単位:百万円)

海外 地域別売上高	2011年3月期 第3四半期 累計期間	2012年3月期 第3四半期 累計期間	差異
米州	3,906	6,060	+2,154
欧州	10,898	12,050	+1,152
アジア	4,803	5,399	+596
内中国	1,942	1,950	+8
合計	19,607	23,510	+3,903
内OEM	6,771	7,722	+951

10

海外の「地域別売上高」について

【米州】

OEM商品のATM用紙幣・小切手入金ユニットの販売が業績を牽引。前年同期比プラス55.1%の60億6,000万円と順調に推移。

【欧州】

OEM商品は低調であったものの、シトラード社の買収効果により、前年同期比プラス10.6%の120億5,000万円と順調に推移。

【アジア】

中国をはじめインド及びインドネシアにおける紙幣整理機の販売がコンスタントに拡大し、前年同期比プラス12.4%の53億9,900万円と順調に推移。

●主要製品の販売が好調

(単位:百万円)

OEM商品である公営競馬場向け当選金払出ユニットの販売や病院向け機器の販売が順調に推移。

セグメントの概要

国内のたばこ販売店、たばこメーカー、病院、自治体、企業等への販売・保守

主要製品



公営競馬市場向け
当選金払出ユニット
RBKシリーズ



診療費支払機
FHPシリーズ



印刷式同時券売機
VFシリーズ

	2011年3月期 第3四半期 累計期間	2012年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比
売上高	8,750	10,409	+1,659 (+19.0%)
構成比率	8.8%	10.0%	+1.2%
営業利益	▲11	▲189	▲178 (▲1618.2%)
構成比率	▲0.1%	▲2.6%	▲2.5%
営業利益率	▲0.1%	▲1.8%	▲1.7%

11

「その他」について

OEM商品である公営競馬場向け当選金払出ユニットや病院向け機器の販売が順調に推移。

[売上高]

前年同期比プラス19.0%の104億900万円。

[営業損益]

1億8,900万円の営業損失。

設備投資他

(単位:百万円)

	2011年3月期 第3四半期 累計期間	2012年3月期 第3四半期 累計期間	前年同期比	四半期毎の推移												
設備投資額	4,683	4,545	▲138 (▲2.9%)	<table border="1"> <tr><th>四半期</th><td>FY10 (3Q)</td><td>FY10 (4Q)</td><td>FY11 (1Q)</td><td>FY11 (2Q)</td><td>FY11 (3Q)</td></tr> <tr><th>金額</th><td>1,323</td><td>1,730</td><td>1,187</td><td>1,947</td><td>1,411</td></tr> </table>	四半期	FY10 (3Q)	FY10 (4Q)	FY11 (1Q)	FY11 (2Q)	FY11 (3Q)	金額	1,323	1,730	1,187	1,947	1,411
四半期	FY10 (3Q)	FY10 (4Q)	FY11 (1Q)	FY11 (2Q)	FY11 (3Q)											
金額	1,323	1,730	1,187	1,947	1,411											
減価償却費	4,908	5,021	+113 (+2.3%)	<table border="1"> <tr><th>四半期</th><td>FY10 (3Q)</td><td>FY10 (4Q)</td><td>FY11 (1Q)</td><td>FY11 (2Q)</td><td>FY11 (3Q)</td></tr> <tr><th>金額</th><td>1,728</td><td>1,808</td><td>1,555</td><td>1,881</td><td>1,785</td></tr> </table>	四半期	FY10 (3Q)	FY10 (4Q)	FY11 (1Q)	FY11 (2Q)	FY11 (3Q)	金額	1,728	1,808	1,555	1,881	1,785
四半期	FY10 (3Q)	FY10 (4Q)	FY11 (1Q)	FY11 (2Q)	FY11 (3Q)											
金額	1,728	1,808	1,555	1,881	1,785											
研究開発投資額	6,306	7,503	+1,197 (+19.0%)	<table border="1"> <tr><th>四半期</th><td>FY10 (3Q)</td><td>FY10 (4Q)</td><td>FY11 (1Q)</td><td>FY11 (2Q)</td><td>FY11 (3Q)</td></tr> <tr><th>金額</th><td>2,155</td><td>2,372</td><td>2,354</td><td>2,733</td><td>2,416</td></tr> </table>	四半期	FY10 (3Q)	FY10 (4Q)	FY11 (1Q)	FY11 (2Q)	FY11 (3Q)	金額	2,155	2,372	2,354	2,733	2,416
四半期	FY10 (3Q)	FY10 (4Q)	FY11 (1Q)	FY11 (2Q)	FY11 (3Q)											
金額	2,155	2,372	2,354	2,733	2,416											

12

「設備投資など」について

設備投資額は、45億4,500万円、
減価償却費は、50億2,100万円、
研究開発投資額は、75億300万円です。

損益計算書・包括利益計算書

(単位:百万円)

(百万円)	2011年3月期 第3四半期 累計期間	百分比 (%)	2012年3月期 第3四半期 累計期間	百分比 (%)	増減
売上高	99,469	100.0	103,579	100.0	+4,110
売上原価	61,677	62.0	64,592	62.4	+2,915
販管費	30,389	30.6	31,666	30.6	+1,277
営業利益	7,401	7.4	7,320	7.1	▲81
営業外収益	1,051	1.1	821	0.8	▲230
営業外費用	668	0.7	435	0.4	▲233
経常利益	7,784	7.8	7,706	7.4	▲78
特別利益	301	0.3	36	0.0	▲265
特別損失	1,091	1.1	356	0.3	▲735
税金等調整前 四半期純利益	6,994	7.0	7,386	7.1	+392
法人税等合計	2,567	2.6	3,740	3.6	+1,173
四半期純利益	4,427	4.5	3,646	3.5	▲781
少数株主損益調整前 四半期純利益	4,427	4.5	3,983	3.8	▲444
その他包括利益合計	▲589	▲0.6	▲368	▲0.4	+221
四半期包括利益	3,837	3.9	3,614	3.5	▲223

①営業外損益：為替差損(204百万円)などが発生。(前年同期は為替差損480百万円を計上)

②特別損失：有価証券評価損(228百万円)。(前年同期は有価証券評価損233百万円を計上)

「連結損益計算書」について

営業利益は、原価率がアップし、販管費率が同等で推移したことから、前年同期比マイナス1.1%の73億2,000万円。

営業外損益は、為替差損として2億400万円を計上。

その結果、経常利益は前年同期比マイナス1.0%の77億600万円。

特別損益は、前年同期には減損損失や退職給付費用を計上したが、

今期は主だったものはなく、

その結果から、税前四半期純利益は73億8,600万円となり、法人税等を差引き、四半期純利益は前年同期比マイナス17.2%の36億4,600万円。

包括利益は、少数株主損益調整前四半期純利益39億8,300万円に、その他の包括利益マイナス3億6,800万円を合わせて、36億1,400万円。

売上高 海外事業の拡大、並びに国内市場の深掘りが進み、前年同期に比べ増収を予想。

利益 売上高拡大とコストダウン施策の推進により、前年同期に比べ増益を予想。

(百万円)	2011年3月期 (平成23年3月期)	2012年3月期 (平成24年3月期)	前年同期比
売上高	138,964	145,000	+4.3%
うち 保守売上高	32,092 (23.1%)	33,600 (23.2%)	+4.7%
営業利益	10,323 (7.4%)	11,000 (7.6%)	+6.6%
経常利益	11,028 (7.9%)	11,000 (7.6%)	▲0.3%
当期純利益	6,229 (4.5%)	6,500 (4.5%)	+4.4%

※為替レート [ドル]85円 [ユーロ]110円

「2012年3月期の業績予想」について

昨年5月20日に公表した予想値から変更なし。

売上高は前年同期比プラス4.3%の1,450億円、
営業利益は前年同期比プラス6.6%の110億円、
経常利益は前年同期比マイナス0.3%の110億円、
四半期純利益は前年同期比プラス4.4%の65億円を予想。

(百万円)	2012年3月期(平成24年3月期)					
	上半期 実績		下半期 予想		通期 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
金融市場	21,186	1,839	22,314	1,561	43,500	3,400
流通・交通市場	13,151	1,724	16,849	2,276	30,000	4,000
遊技市場	10,453	129	13,547	1,271	24,000	1,400
海外市場	15,623	736	18,877	1,464	34,500	2,200
その他	6,839	▲258	6,161	258	13,000	0
合計	67,255	4,172	77,745	6,828	145,000	11,000

セグメント別の売上高・営業利益の予想について

市場環境等を勘案して、第2四半期累計期間の時の公表値から、金融市場、遊技市場、海外市場の予想を修正。

[金融市場]

売上高・・・460億円→435億円に下方修正。
営業利益・・・46億円→34億円下方修正。

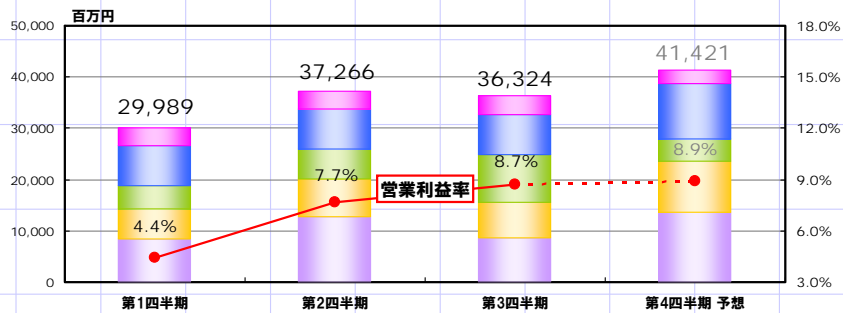
[遊技市場]

売上高・・・220億円→240億円に上方修正。
営業利益・・・7億円→14億円に上方修正。

[海外市場]

売上高・・・340億円→345億円に上方修正。
営業利益・・・17億円→22億円に上方修正。

四半期毎のセグメント別売上高



セグメント	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期 予想	年間 予想
金融市場	8,471(342)	12,715(1,497)	8,693(172)	13,621(1,389)	43,500(3,400)
流通・交通市場	5,836(736)	7,315(988)	6,837(769)	10,012(1,507)	30,000(4,000)
遊技市場	4,597(▲251)	5,856(380)	9,338(1,339)	4,209(▲68)	24,000(1,400)
海外市場	7,779(502)	7,844(234)	7,887(801)	10,990(663)	34,500(2,200)
その他	3,304(▲23)	3,535(▲235)	3,570(69)	2,591(189)	13,000(0)
合計	29,989(1,306)	37,266(2,866)	36,324(3,148)	41,421(3,680)	145,000(11,000)

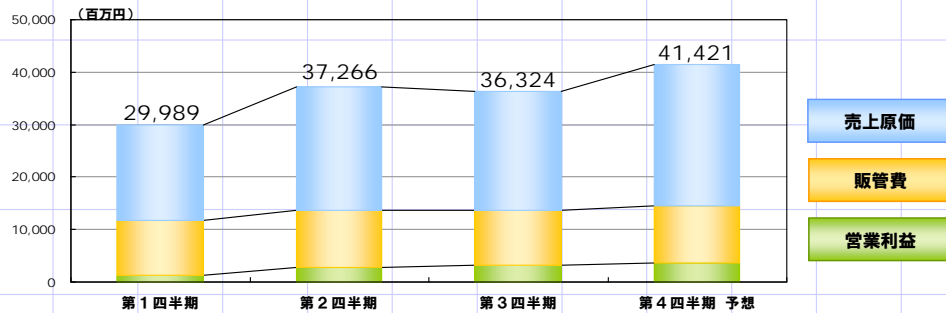
※右側の () は営業利益

16

「四半期毎のセグメント別売上高」について

今期も売上高は、第4四半期の売上高比率が非常に高い反面、手数料の支払いや販管費等の増加を予想。

四半期毎の営業利益



2011年3月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期 予想	通期予想
売上高	29,989	37,266	36,324	41,421	145,000
売上原価 (売上高比率)	18,279 (61.0%)	23,675 (63.5%)	22,638 (62.3%)	26,908 (65.0%)	91,500 (63.1%)
販管費 (売上高比率)	10,404 (34.7%)	10,724 (28.8%)	10,538 (29.0%)	10,834 (26.2%)	42,500 (29.3%)
営業利益 (売上高比率)	1,306 (4.4%)	2,866 (7.7%)	3,148 (8.7%)	3,680 (8.9%)	11,000 (7.6%)

「四半期毎の売上原価、販管費、営業利益」について

[第4四半期]

設計委託先に支払う開発手数料の処理をはじめ、支払いが集中。

毎年第3四半期よりも原価率の上昇や販管費の増加傾向。

今期はコストダウン活動等の効果により、第3四半期と同等の営業利益率を予想。

海外市場

金融機関向け紙幣入出金機 **RGB-100** (2012年1月24日発売)

【主な特徴】

- ▶ 省スペース・大容量
 - ・ハイカウンター下に収まるコンパクトサイズ
 - ・総収容量は業界最多(従来製品の3倍)
- ▶ 紙幣記番号の記録機能搭載
- ▶ 業界最速の入金計数スピード(10枚/秒)

【販売地域】

米国、並びに紙幣流通量の多い新興国

【販売目標】

3年間で4,000万ドル



18

「新製品」について

1月下旬より、海外の金融機関を対象とした新製品「紙幣入出金機RGB-100」を発売。

【特長】

金融機関の営業店のカウンターに設置し、紙幣の入出金処理を行う製品。業界最多の収容量や最速の計数スピード。

【販売方法】

従来のRBU-10の後継機種として、アメリカを皮切りに、欧州、アジアにも販売地域を拡大。販売目標は3年間で4000万ドル。